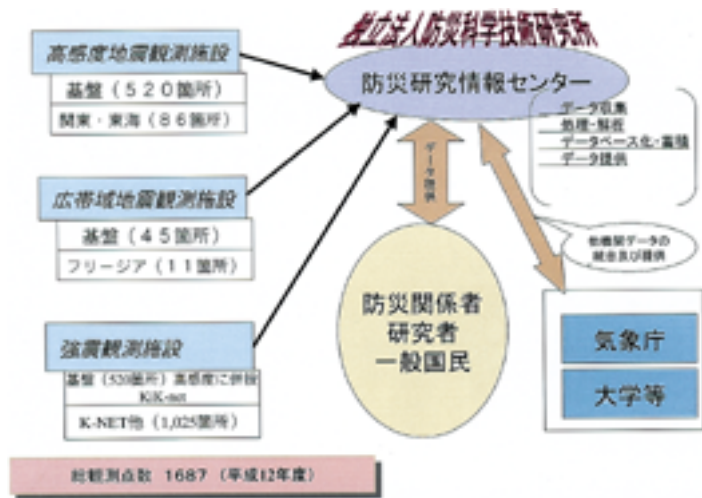


目的を達成するために、次の6つの管理室を設置します。

- 1) 高感度地震観測網の整備、運用を行う「高感度地震観測管理室」
- 2) 広帯域地震観測網の整備、運用を行う「広帯域地震観測管理室」
- 3) 強震観測網の整備及び運用を行う「強震観測管理室」
- 4) 国外における地震観測網の整備、運用を行う「国際地震観測管理室」
- 5) 防災科学技術に関する内外の情報及び資料の収集、整理、保管及び提供を行う「自然災害情報室」
- 6) 研究所のネットワークの管理を行う「ネットワーク管理室」

これら6つの管理室は、有機的に結合して、防災情報の収集・流通・蓄積を行います。

特に、地震調査推進本部の計画で進



められている全国的な地震観測については、地震観測網の整備及び運用を効率的に行うとともに、高感度、強震、広帯域等の各種の地震観測データを融合・統一し、研究者・専門家はもとより、一般国民に公開するため、新しく総合地震観測管理主幹を置き、その活動を強化していきます。

(防災研究情報センター センター長 笠原敬司)

防災科研の独法化

基本目標

災害から人命を守り、災害の教訓を活かして発展を続ける災害に強い社会の実現を目指します。

5つの大方針

- 方針1: 防災に目に見えて役立つ成果を上げることを、基本とします。
- 方針2: 幅広い分野間の有機的連携によって、総合的に研究開発を推進します。
- 方針3: 地震火山災害分野へ重点的に取り組みます。同時に、気象災害、土砂災害等の災害への取り組みも充実します。
- 方針4: 産・官・学と連携して、多方面からアプローチし、全体としての災害防止を目指します。
- 方針5: 防災分野の研究開発の先進国として、研究開発基盤の整備など積極的に国際的な役割を担います。